九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

細胞-基材接着界面における高分子の役割に着目した細胞接着制御とその応用

政池, 彩雅

https://hdl.handle.net/2324/6787564

出版情報：Kyushu University, 2022, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

（様式５－２）

氏　　名	政池 彩雅
論　文　名	細胞-基材接着界面における高分子の役割に着目した細胞接着制御とその応用
論文調査委員	主　査　　九州大学　教授　　氏名　木戸秋 悟 副　査　　九州大学　教授　　氏名　片山 佳樹 副　査　　九州大学　教授　　氏名　工藤 奨

論　文　審　査　の　結　果　の　要　旨

本論文では、凝縮高分子修飾表面の水平変形性の設計による細胞接着斑活動の精密制御手法の拡充、および細胞膜糖衣の母子的垂直圧縮性を局所 pH 像に変換して可視化する手法の開発に成功している。本研究で得られた知見は、高分子修飾基材上での細胞接着制御の分子機構の理解と生体材料設計の指針を拡充する有益なものであり、生体材料化学および生物物理工学の発展に貢献する。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値すると認める。